

理科(物理・化学・生物・地学) 関西学院大学 全学部日程 (2 / 1 実施)

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

記述, 選択, 計算, 論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

今年は, 計算問題に有効数字の指定があった。

その他トピックス

〔Ⅲ〕問4 けん化価, ヨウ素価の定義が記載されていない。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔Ⅰ〕	記述 選択 計算	極性, 同位体, 化学結合, 氷 の構造, ラウ ールの法則, 束一的性質	化学	無極性分子と極性分子, H_2O と D_2O の電離度の比較, 理想溶液と実在溶液の蒸気圧の比較, 浸透圧の計算など多角的な内容の問題である。	標準
〔Ⅱ〕	記述 選択 計算 論述	電池 アルカリ金属 両性金属 黒鉛の構造	化学	鉛蓄電池とリチウムイオン電池を中心とする内容である。	標準
〔Ⅲ〕	記述 計算	脂肪族化合物 芳香族化合物 油脂 合成高分子	化学	カルボニル化合物の反応と性質, 脂肪族炭化水素の構造決定, 分子の形と沸点などの内容の問題である。 けん化価, ヨウ素価の定義が記載されていないので, 解けなかった受験生もいたと思われる。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 理論・無機・有機をまんべんなく学習しておくこと。
2. 基礎的な事項を十分整理しておくこと。
3. 論述問題も出題されるので, 平素から書く練習をしておくこと。
4. 問題演習を十分に行っておくこと。